

Liner Notes

清水真奈美は、「津軽三味線の人」だった。しかし現在の彼女は違う。

彼女は津軽という一地方から新しい世界に飛び出した。

それは、年月を経て彼女が自らの音楽を創り出そうと試行錯誤した努力があったからこそ、何かを得てここに至ったのだろう。

さて、清水真奈美から連絡があったのは去年の秋であった。

平成二十三年に起きた東日本大震災は、未だに復興途中にある地域や、また心の傷が癒されていない方々が多数あるという現状。

それを憂っていた彼女は、自ら何かに役に立ちたいという強い思いを常に持っていたが、ある時その思いが溢れ出て曲になったという。

そして、それを形にして多くの人を力づけられたら、と私に編曲を依頼してきたのだ。

彼女の祈りともいえるその純粋な心がストレートに感じられる言葉と曲、

私はその尊い思いを形とする作業の一つを担えたことが、とてもうれしい。

ひとつの世界だけにとらわれない広い音楽観を持つ清水真奈美。

これからも心に響く音楽を創り続けていくことを私は期待する。

萩谷 清

ギタリスト / 作・編曲家